

経営比較分析表（令和4年度決算）

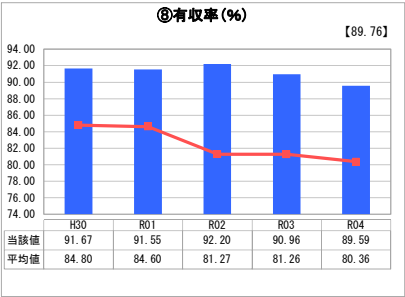
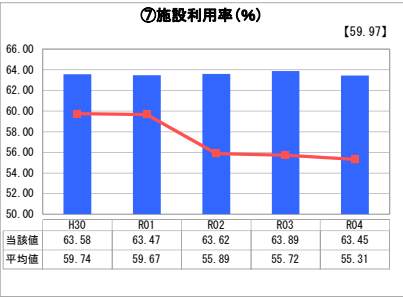
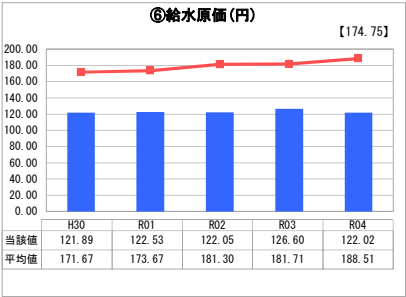
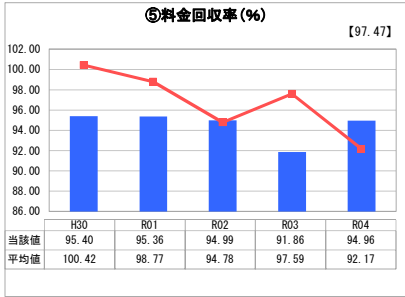
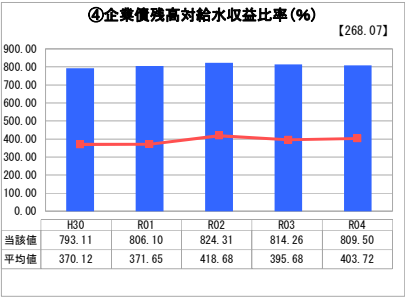
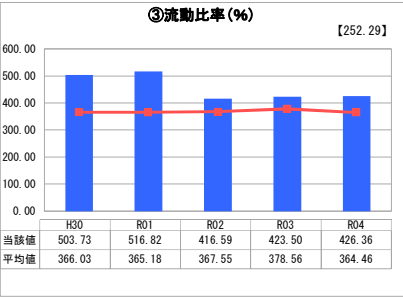
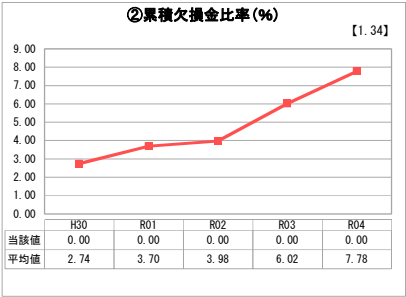
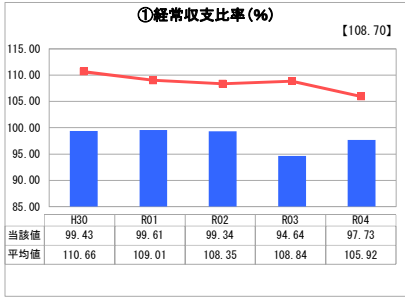
愛媛県 松前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	49.53	98.25	2,129	

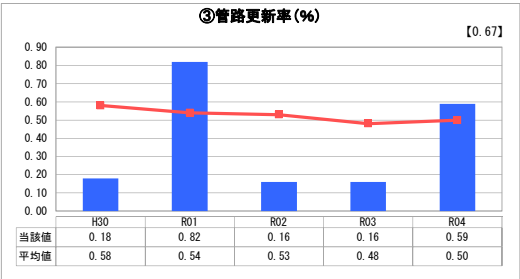
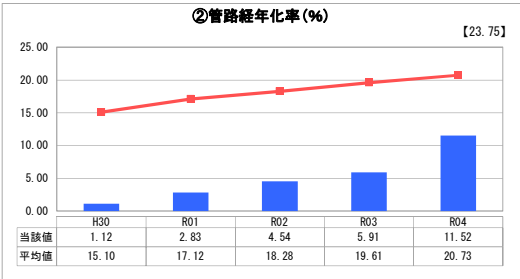
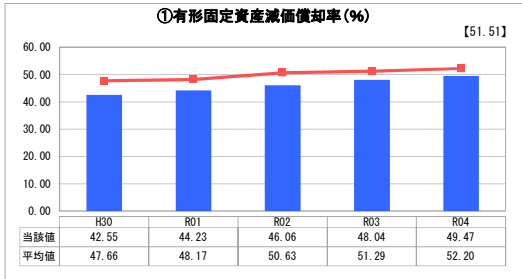
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,364	20.41	1,487.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
29,817	20.41	1,460.90

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は、有収水量の減少に伴う給水収益の減少があったものの、支払利息の減少等により、前年度比3.09ポイント増の97.73%となった。しかし、平成30年度以降、健全経営の水準とされる100%を下回る状況が続いている。

料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比3.10ポイント増の94.96%となり、前年度からは改善されているものの、事業に必要な費用を給水収益で賄いきれていない状況が続いている。累積欠損金は発生していないが、経営改善に向けた取組みが必要となってきており、令和4年度から料金改定等の検討を進めている。

施設利用率や有収率は、類似団体の平均値より高い状態を維持できており、給水原価は、類似団体の平均値より低い状態を維持できていることから、効率的な給水が行えていると言える。ただ、有収率は、ここ数年、減少傾向にあることから、今後、より適切な管路等の管理・点検に努めていかなければならない。

一方、短期的な支払能力を示す流動比率は、類似団体の平均値を上回っているものの、令和2年度以降、落ち込んだ状態が続いている。今後、浄水場整備に伴う多額の支出が予定されていることから、堅実な経営の見通しを立てていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年度比1.43ポイント増の49.47%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は、前年度比5.61ポイント増の11.52%と、施設の老朽化が徐々に進んできている。

一方、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は、0.43ポイント増の0.59%となった。これまで、管路経年化率は低い状態を保ってきたが、今後、法定耐用年数に達し更新時期を迎える管路がますます増加していくため、より効果的な計画を模索するとともに、管路の耐震対策に向け効率的な更新に取り組んでいく必要がある。

全体総括

今後も安全・安心な水を供給していけるよう、第6次拡張事業計画に基づいた施設建設及び管路の耐震対策を進めていく必要がある。そのためには、常に経営状況をモニタリングし、計画的な投資とそれに伴う企業債の借入の収支バランスを慎重に見据え、事業の推進に努めていかなければならない。